

令和3年4月9日

# 厚生常任委員会報告資料

健康医療局

## 目 次

ページ

- 1 高齢者施設等の従事者に対する新型コロナウイルスPCR検査事業における誤通知等について ..... 1

# 1 高齢者施設等の従事者に対する新型コロナウイルスPCR検査事業における誤通知等について

本年2月から実施している高齢者施設等の従事者に対する新型コロナウイルスPCR検査事業において、配布キット数の誤りの事故等があったため、報告する。

## (1) 事業の概要

県内の医療提供体制を維持するため、重症化リスクが高い高齢者や障がい者が生活する施設の従事者にPCR検査を実施し、施設内の感染拡大防止対策を強化する。

### ア 対象施設数・職員数等

施設区分	施設数	職員数	入所者数(参考)
高齢者施設	約 2,800 ケ所	約 90,000 人	約 150,000 人
障害者施設	約 840 ケ所	約 18,000 人	約 16,000 人
合計	約 3,640 ケ所	約 108,000 人	約 166,000 人

### イ 実施状況

区分	(株)東亜産業	(株)エスアールエル	ドクターズ(株)	(株)エアトリ	合計
対象エリア	横浜市	川崎市, 相模原市	横須賀・三浦圏域, 県央圏域, 湘南東部圏域 (横須賀市, 鎌倉市, 逗子市, 三浦市, 葉山町, 厚木市, 大和市, 海老名市, 座間市, 綾瀬市, 愛川町, 清川村, 藤沢市, 茅ヶ崎市, 寒川町)	湘南西圏域, 県西圏域 (平塚市, 秦野市, 伊勢原市, 大磯町, 二宮町, 南足柄市, 中井町, 大井町, 松田町, 山北町, 開成町, 小田原市, 箱根町, 真鶴町, 湯河原町)	
対象施設数	約 1,300 施設	約 950 施設	約 950 施設	約 440 施設	約 3640 施設
対象者数	約 42,000 人	約 26,000 人	約 26,000 人	約 14,000 人	約 108,000 人
1回目検査施設数	384 施設	210 施設	309 施設	146 施設	1,049 施設
実施人数	15,737 人	7,664 人	10,957 人	5,746 人	40,104 人
陽性者数	1人(0人)	3人(1人)	6人(2人)	0人(0人)	10人(3人)
2回目検査施設数	577 施設	358 施設	435 施設	192 施設	1,562 施設
実施人数	21,289 人	11,732 人	14,590 人	7,381 人	54,992 人
陽性者数	2人(1人)	4人(2人)	1人(1人)	0人(0人)	7人(4人)
3回目検査施設数	613 施設	353 施設	494 施設	205 施設	1,665 施設
実施人数	22,540 人	11,319 人	16,372 人	7,436 人	57,667 人
陽性者数	4人(2人)	4人(2人)	2人(2人)	0人(0人)	10人(6人)
施設数合計	1,574 施設	921 施設	1,238 施設	543 施設	4,276 施設
検査人数合計	59,566 人	30,715 人	41,919 人	20,563 人	152,763 人
陽性者数合計	7人(3人)	11人(5人)	9人(5人)	0人(0人)	27人(13人)

\* 検査実施状況は4月8日現在

\* 陽性者数の( )は、行政検査によって発生届が出された数

## (2) 事故等の内容

### ア 全体概要

	対象施設	内 訳			
		(株)東亜産業	(株)エスアールエル	トクターズ(株)	(株)エアトリ
配布キット数の誤り	212 施設 (41 施設)	197 施設 (27 施設)	—	14 施設 (14 施設)	1 施設
受検施設調査結果の誤送信	11 施設	1 施設	—	10 施設	—
計	223 施設 (41 施設)	198 施設 (27 施設)	0 施設	24 施設 (14 施設)	1 施設

※( )内は上段の施設数のうち、県が送付した施設一覧表の誤りが原因となるもの。

本検査事業における今回の事故等の対象施設数は、全体で 223 施設であり、その内容については、以下の2つの事務手続等の誤りによるものである。

#### (ア) 「配布キット数の誤り」が3社で212施設

県から委託検査会社に送付する施設一覧表の誤りによる 41 施設分を含め、委託検査会社においても事務手続の誤りがあったことにより、施設が希望する検査数よりも検査キットを多く配布されたもの。

#### (イ) 「受検施設調査結果の誤送信」が2社で11施設

委託検査会社における事務手続の誤りにより、検査未実施分にもかかわらず、陰性結果の「受検施設調査結果の誤送信」があったもの。

### イ 配布キット数の誤り

#### (ア) 神奈川県施設一覧表の誤り

県がweb申請フォームにより施設からの申し込みを受け付け、この情報を県のシステム(kintone)で管理し、委託検査会社に検査依頼書(施設一覧表)を送付し、事業を実施している。

この県のシステムに、法人名と施設名が混在するなど、同一施設が重複して登録されていた。施設一覧表を作成の際に、重複入力分の確認・修正が十分行われず、41施設が重複記載されたままの施設一覧表を委託検査会社4社に送付していた。(株式会社エスアールエル及び株式会社エアトリは、対象施設の重複を確認し、修正して対応。)

その後直ちに、施設一覧表の内容を再度チェックするとともに、県のシステムも2度目の入力であるというチェック欄を設けて、重複の入力がひと目でわかるように改修を行った。

#### (イ) 株式会社東亜産業からの送付誤り

県から送付された、重複記載のある誤った施設一覧表のまま送付した結果、当該検査会社は、同一施設に重複記載分の検査キットを27施設に送付した。

加えて、当該検査会社は、各施設に第1回目の検査時に3回分の検査キットを送付していたにもかかわらず、2回目、3回目の検査時にも重複して送付した結果、最大計6回分(県の誤りによる27施設は最大12回分)の検査キットを197施設に送付していた。

その後、当該検査会社は各施設に謝罪するとともに、検査キットの回収を行った。

(ウ) **ドクターズ株式会社からの送付誤り**

県から送付された、重複記載のある誤った施設一覧表のまま送付した結果、同一施設に重複記載分の検査キットを14施設に送付した。その後、当該検査会社は各施設に謝罪するとともに、検査キットの回収を行った。

(エ) **株式会社エアトリからの送付誤り**

県が送付した施設一覧表の重複記載分は認識し修正したが、委託検査会社の管理台帳への検査キット数の入力ミスにより、対象者数以上の検査キットを1施設に送付した。その後、当該検査会社は各施設に対して謝罪するとともに、検査キットの回収を行った。

**ウ 受検施設調査結果の誤送信**

(ア) **株式会社東亜産業の誤送信**

第1回目の検査をキャンセルした2名に関し、検体を送付していないにもかかわらず、検査対象数と検査キット回収数の照合確認を行わず、当該キャンセル2名分も含めて、施設内全員の「陰性」である旨の通知を1施設に対して行った。

その後、当該検査会社は当該施設に対し謝罪した。

(イ) **ドクターズ株式会社の誤送信**

第1回目の検査については、申し込まれていないにもかかわらず、当該検査会社の送信先のチェックミスにより、施設内全員の「陰性」である旨の通知を10施設に対して行った。

その後、当該検査会社は各施設に対し謝罪した。

(3) **県の対応**

3月29日、今回、特に検査事業の信頼性を問われかねない受検施設調査結果の誤送信がなされた11施設に対しては、医療危機対策本部室長から、電話により状況の説明と謝罪を行った。

(4) **再発防止策**

**ア 県における対応策**

県においては、施設から内容修正のために重ねて登録する場合に、その旨を知らせるチェック欄を設け、重複登録が確認できるようシステム改修を行うとともに、重複登録を取り除く作業にあたっては、住所と電話番号を用いて検索し、確実に取り除く工程を加えたほか、複数の職員による最終チェックができる事業スケジュール、体制を組むこととした。

**イ 委託検査会社に対する対応策**

委託検査会社に対しては、配布物品の管理や、配送先・メール送信先の厳重なチェックなど、自社内事務の管理体制を強化するほか、対象施設との連絡調整を十分に行うように厳しく指導を行い、事業者からは、複数名によるチェック体制を確実に構築する旨報告を受けた。

## 参考：申し込みから検査実施までの流れ

### ① 施設

- ・「web 申請フォーム」に施設の基礎情報や PCR 検査の希望日、希望キット数等を入力し、申し込みをする。

### ② 神奈川県

- ・「web 申請フォーム」に入力されたデータを県のシステム(kintone)で管理し、施設名の入力ミス等がないかを確認し、不備があれば、登録内容を補正する。
- ・県のシステム登録内容を住所別に仕分け、委託検査会社に検査先の施設一覧表として検査依頼書（施設一覧表）に添付して送付する。

### ③ 委託検査会社

- ・施設との連絡・調整として、県から施設一覧表を受理した後、速やかに当該施設に対し、検査キットの配布日・回収日を書面、電子メール又は FAX により通知する。
- ・各施設からの発注依頼により、施設に検査キットを検査開始日の前日までに各施設に搬送する。
- ・検体を回収後、速やかに検査を実施し、その結果については、検体回収日の翌々日までに、各施設に対して書面又は電子媒体により報告するとともに、県にも検査結果報告書を作成して報告する。

## 高齢者施設等の従事者に対する新型コロナウイルスPCR検査事業アンケート結果

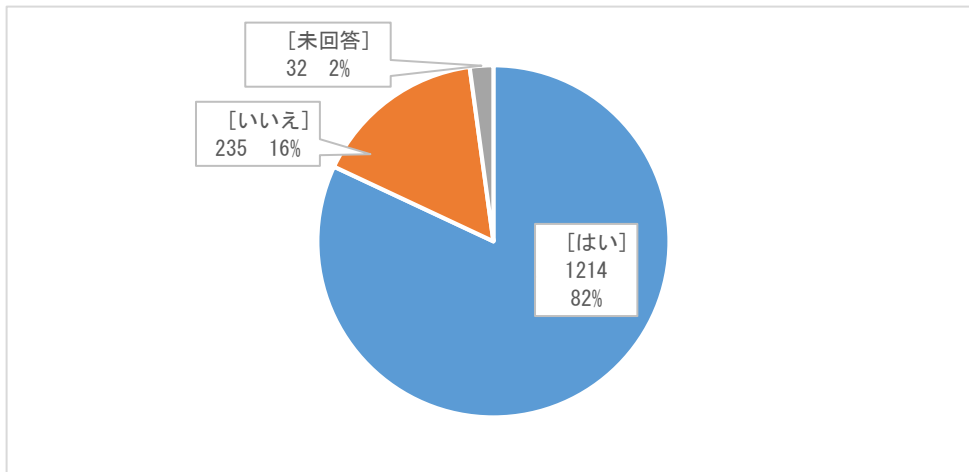
I 対象 本事業申し込み web 申請フォームに入力のあった施設（1, 783ヶ所）

II 調査期間 令和3年3月19日～3月24日

III 回収率 アンケート送付数 1, 783施設  
回収数 1, 481施設  
回収率 83.1%

### IV 結果

#### 1 検査会社との連絡はスムーズであったか



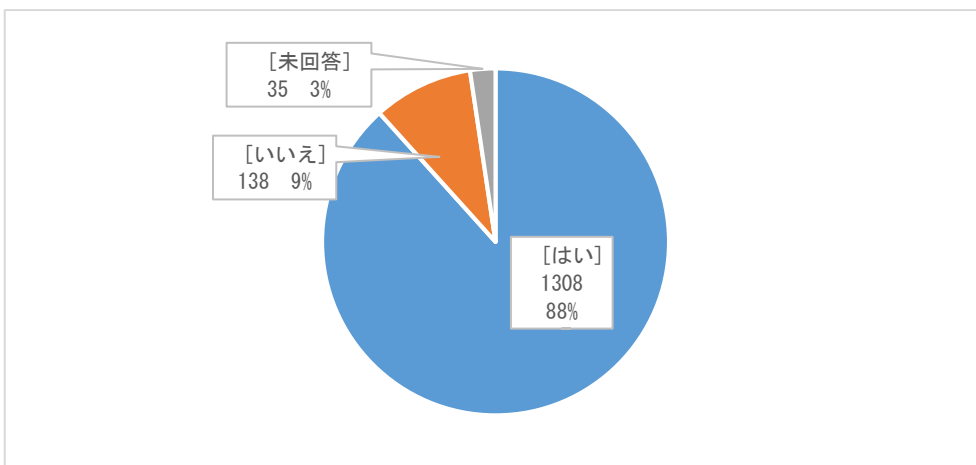
##### ○「いいえ」の理由

- ・検査結果の通知が遅かった（1週間以上）。
- ・検査を実施していないのに、メール本文に「陰性」と記載された一斉メールがあった。
- ・検査会社の担当部署に連絡が付きにくかった。
- ・検査方法の説明書がわかりにくかった。

##### ○「はい」の理由

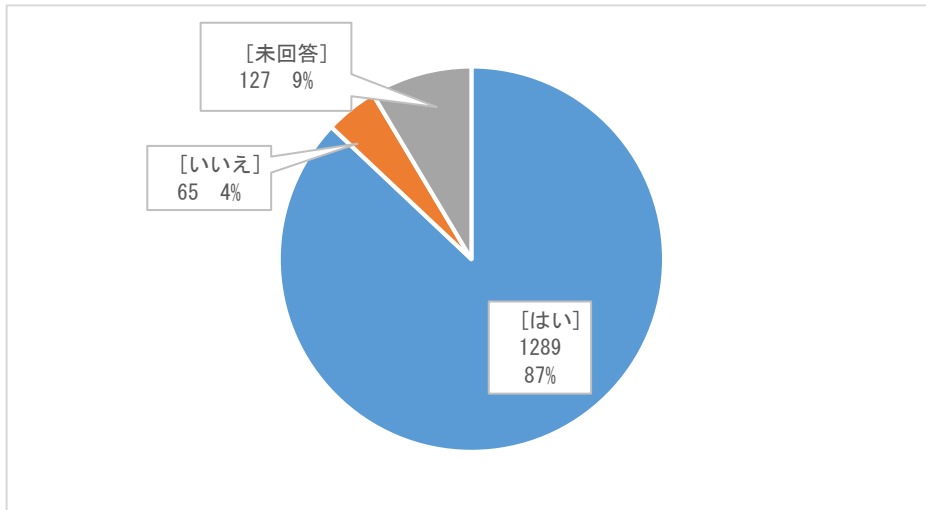
- ・迅速、丁寧な対応だった。

#### 2 検査キットは希望通り届いたか



- ・検査希望人数よりもかなり多くのキッドが届いた。
- ・希望していない回にも検査キッドが届いた。
- ・検査キットが足りないことがあった。
- ・検査キット回収の際にキットの入れ物を持ってこないなど、検体の扱い方について疑問を持った。
- ・回収日までに検査キットが届かなかった。

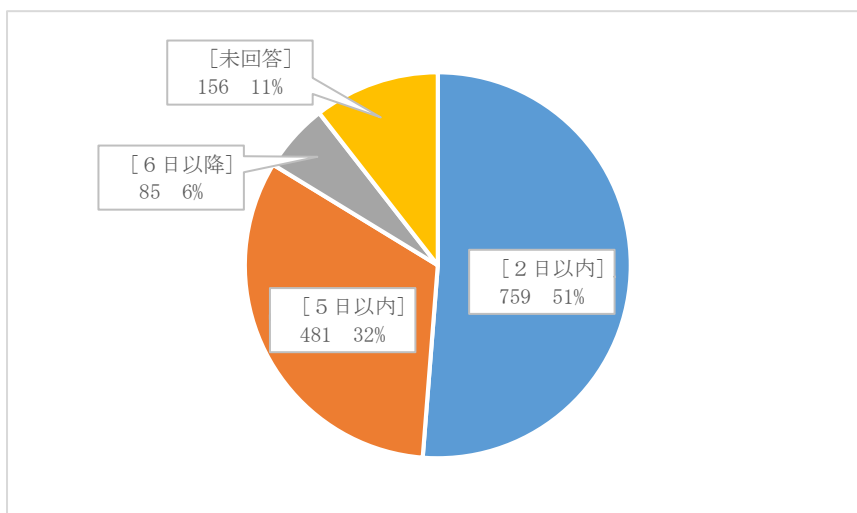
### 3 検体採取後、速やかに回収されたか。



#### ○ 「いいえ」の理由

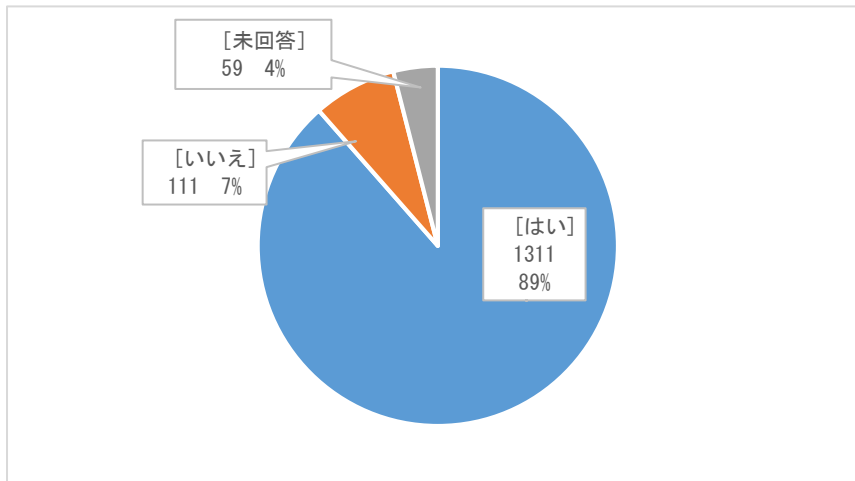
- ・業務に支障が生じるので、回収時間を指定してほしい。
- ・予定の日時に回収に来なかった。

### 4 検査結果は検体回収後何日で届いたか。





5 今後も本事業を継続したいですか。



6 その他、主な意見

事業スキームについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料で受けられて助かった。</li> <li>・時間が無く実施日の選定や周知が厳しい。</li> <li>・施設で準備、回収等に人手がとられる。</li> <li>・短時間で結果が出る抗原検査の方がいいのでは。</li> <li>・もう少し検査の期間を開けた方が、効率がよいのではないか。</li> <li>・全員検査ではなく任意で回数も自由選択性であったのが良かった。</li> <li>・検査キットが届いてから回収までの期間が短い。</li> </ul>
事業の効果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の安心につながった。</li> <li>・最初の検体採取から最後の検体採取まで数日かかり、最初の検体採取の職員が陽性であると、まん延防止にはならないと感じた。</li> <li>・感染対策の意識が強化された。</li> <li>・費用対効果という観点から疑問に思う。</li> </ul>
県に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者のとの連携が十分にできていないと感じた。</li> <li>・WEBフォームの入力が分かりにくかった。</li> <li>・陽性者が出た時の対応の仕方がわからなかった。</li> </ul>
今後について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業を継続してほしい。</li> <li>・1か月に1回程度のペースで実施してほしい。</li> <li>・デイサービス、訪問介護にも対象を広げてほしい。</li> <li>・検査の方法を変更(唾液を溜める→スポンジに含ませる)できないか。</li> <li>・入居者・在宅サービスの職員・短期入所生活介護の従事者も含めてほしい。</li> </ul>